

# 「いたばし 子ども 夢つむぐプロジェクト（子どもの貧困対策）」 平成30年度実績報告

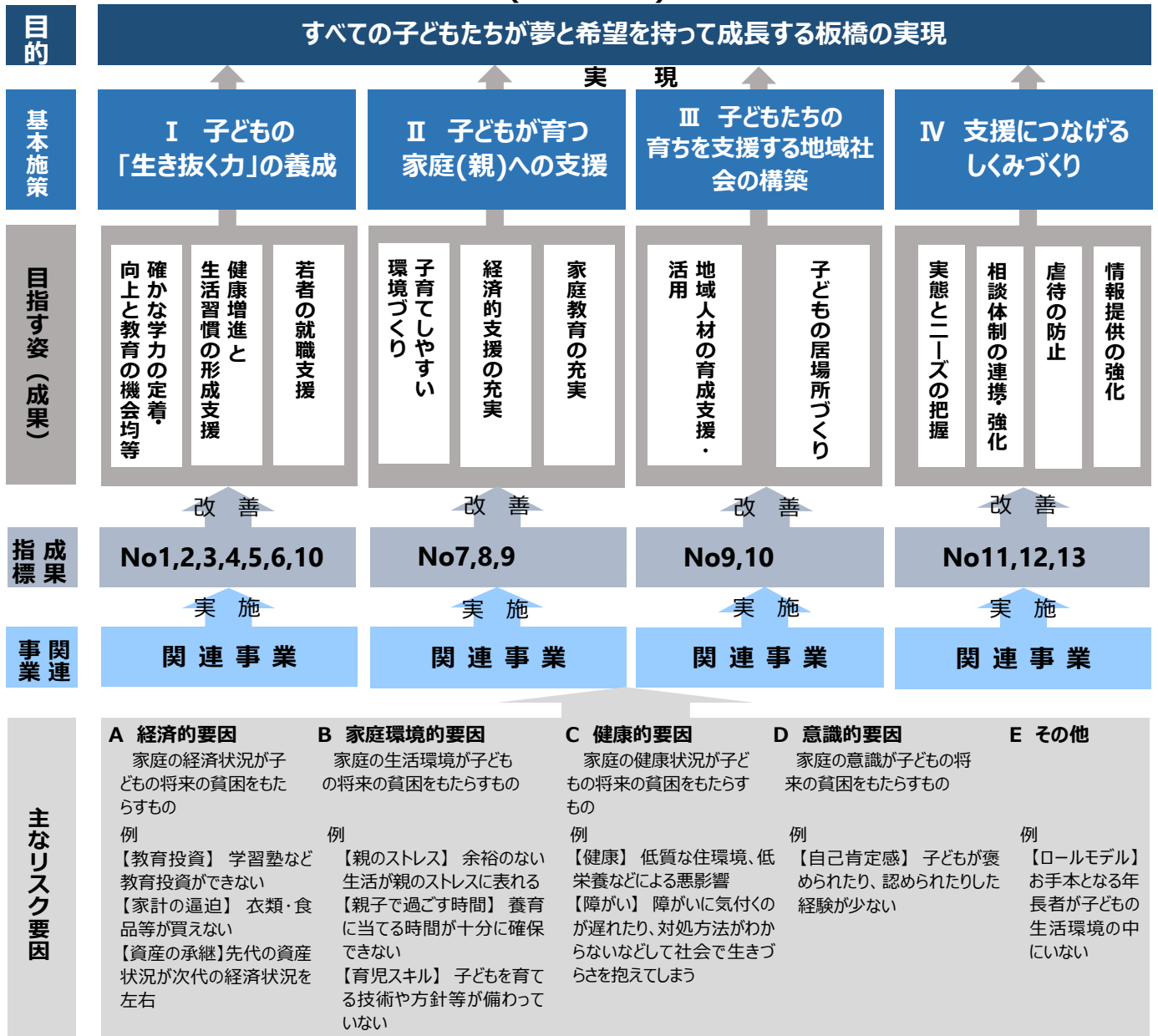
## 1 趣旨

区では、子どもの貧困対策関連事業を「いたばし 子ども 夢つむぐプロジェクト」(以下「本プロジェクト」という。)として取りまとめ、「板橋区子ども・若者計画 2021」(以下「子若計画」という。)にも改めて位置づけた。

子若計画では、本プロジェクトに係る成果指標(関連指標)を設定し、その改善を通じて、区の目指す姿(成果)を実現し、ひいては本プロジェクトが目的とする「すべての子どもたちが夢と希望を持って成長する板橋」を実現することを目指している。

平成30年度実績では、子どもが将来貧困に陥り得るリスク要因を分類し、関連事業がどのようにリスク緩和に寄与するのかの観点からの評価を加えた。今般、その結果を取りまとめたので、報告する。

### ●いたばし子ども夢つむぐプロジェクト(イメージ図)



※複数のリスク要因に該当することもあり得る。また、リスクに対する関連事業の対応としては、リスク原因そのものを緩和する場合や、当該リスクから受けた影響を緩和する場合などがあり得る。

※関連事業…p2～3 成果指標…p4

## 基本施策Ⅰ 子どもの「生き抜く力」の養成

## ○確かな学力の定着・向上と教育の機会均等

## ・学習支援事業「まなぶーす」

## 【実績概要】

- ・平成 30 年度 2 か所(定員各 100 名)
- ・利用者数 151 名 進路決定者数(中学 3 年)28 名

## 【リスクに対する寄与状況】

- ・生活困窮等で学習環境確保の困難な子どもに対する学習支援により希望進路を確保(経済的要因)
- ・学習支援や居場所支援を通じた生活習慣や意欲等の変化(家庭環境・意識的要因)

## ○若者の就職支援

## ・いたばし若者サポートステーション

## 【実績概要】

- ・総来所者 延 2,364 名
- ・進路決定者 57 名

## 【リスクに対する寄与状況】

- ・就職による経済状況の改善(経済的要因)
- ・生活リズムの安定(家庭環境的要因)
- ・セミナー等を通じた職業意識の啓発、不安等の緩和(意識的要因)

## ○健康増進と生活習慣の形成支援

## ・「小学校・中学校入学前に身に付けたい生活習慣」

## チェックシートの配布・活用促進

## 【実績概要】

- ・活用率 68.9%

## 【リスクに対する寄与状況】

- ・生活習慣の改善(家庭環境的要因)
- ・健やかな体の成長の促進(健康的要因)
- ・対人関係の基礎の育成(意識的要因)

## ・妊婦・出産ナビゲーション事業(いたばし版ネウボラ)

## 【実績概要】

- ・面接実施率 82%

## 【リスクに対する寄与状況】

- ・出産育児一時金、保健指導票等の情報提供(経済的要因)
- ・出産・子育て環境の確認・助言・支援(家庭環境的要因)
- ・妊婦・家族の健康状態把握・情報提供・助言・支援(健康的要因)
- ・相談場所としての健康福祉センター周知(意識的要因)

【評価】学習支援事業「まなぶーす」は、生活困窮家庭の子どもに対する学習支援や居場所支援を通じ、本人の希望する進路への一助となった。今後(令和元年度)は、地域拠点の増設を行い、登録者の増加に対するニーズへの対応を行っていく。

「小学校・中学校入学前に身に付けたい生活習慣チェックシート」は、家庭で生活習慣の習得・改善に取り組むことへの意義・理解が進んできている。引き続き利用者ニーズを捉え、チェックシート内容及びアンケート方法について点検し、必要な改善を行うことにより、活用促進が図られるよう努めていく。

「いたばし若者サポートステーション」は、ネット予約や LINE の活用等を始め、総来所数を増加させた。引き続き周知活動にも力を入れて、活用促進が図られるよう努めていく。

「妊婦・出産ナビゲーション事業」は、アンケート調査において 99.7%の方が「妊婦面接を受けて良かった」と答えており、区民の満足度が高く、その後の切れ目ない支援に大きく寄与している。未面接者については、引き続き対応を検討していく。

基本施策Ⅰの実施を通じ、妊娠・出産期から子どもの自立期に至るまで、継続的な視点で支援できるよう努めていく。

## 基本施策Ⅱ 子どもが育つ家庭(親)への支援

## ○子育てしやすい環境づくり

## ・保育施設・認定こども園の整備

## 【実績概要】

- ・新規整備等による保育定員数 507 人増

## 【リスクに対する寄与状況】

- ・育児と仕事の両立による生活安定(経済・家庭環境的要因)
- ・幼児教育・保育による人格形成の基礎の育成(家庭環境・健康・意識的要因)

## ○家庭教育の充実

## ・家庭教育支援講習会

## 【実績概要】

- ・受講者数 117 名

## 【リスクに対する寄与状況】

- ・家庭教育力の向上(家庭環境的要因)
- ・子育てにおける自己意識の高揚(意識的要因)

## ○経済的支援の充実

## ・要・準要保護児童・生徒の保護者に対する就学援助

## 【実績概要】

- ・認定者数 小学校 5,681 人  
中学校 3,038 人

## 【リスクに対する寄与状況】

- ・経済的理由による就学困難な児童・生徒の保護者に対する学校教育経費の一部援助(経済的要因)

## ・ひとり親家庭自立支援給付金

## 【実績概要】

- ・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金 14 人
- ・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金 30 人

## 【リスクに対する寄与状況】

- ・就労に直結する資格等の取得による収入増加(経済的要因)

【評価】保育施設・認定こども園の整備では、保育定員を拡大した。引き続き待機児童の解消に向けて、新規整備等を進めていく。

「ひとり親家庭自立支援給付金」では、資格の取得や就労に繋がることが、ひとり親家庭の生活基盤の安定に寄与している。貧困の世代間連鎖の防止にも繋がる事業であるため、適正に事業規模を見極め今後には繋げていく。要・準要保護児童・生徒の保護者に対する就学援助では、保護者の負担を軽減するため入学準備金の前倒しについて検討し、令和 2 年 4 月入学者より適用することとした。家庭教育支援講習会では、子育てに不安を抱える多くの区民が受講し、アンケート結果により 9 割を超える高い満足度を得ている。家庭における教育力の向上に資するよう、引き続きニーズに沿ったテーマを検討していく。

基本施策Ⅱの実施を通じ、確実な経済的支援の実施とともに、子どもが健やかに育成される家庭環境の整備を図っていく。

## 基本施策Ⅲ 子どもたちの育ちを支援する地域社会の構築

### ○地域人材の育成支援・活用

#### ・子どもの居場所づくり活動支援事業

##### 【実績概要】

- ・状況把握調査 381 団体(アンケート)
- ・ネットワークづくり(フォーラム、講座、連絡会の開催)
- ・居場所マップの作成・配布 34,000 部

##### 【リスクに対する寄与状況】

- ・食や学習の提供による金銭的・精神的困窮、栄養状況の改善(経済・家庭環境・健康的要因)
- ・社会的孤立の防止と生活及び学習意欲の向上(家庭環境・意識的要因)
- ・支援者からのアウトリーチや専門相談との連携による課題解決の契機(その他)

#### ・板橋区コミュニティスクール(iCS)導入準備

##### 【実績概要】

- ・iCS 導入推進校 10 校指定
- ・iCS 導入に係る検討会 3 回
- ・iCS 導入推進校 10 校連絡会 2 回

##### 【リスクに対する寄与状況】

- ・学びや体験活動等の充実による自己肯定感の醸成(意識的要因)
- ・連携・協働体制、質の高い教育環境の整備(その他)

### ○子どもの居場所づくり

#### ・板橋区版放課後対策事業“あいキッズ”の推進

##### 【実績概要】

- ・利用料の負担軽減 免除児童 62 人  
減額児童 339 人

##### 【リスクに対する寄与状況】

- ・利用料の減額・免除による負担軽減(経済的要因)
- ・子育てと仕事等の両立支援(経済・家庭環境的要因)
- ・居場所支援を通じた生活習慣や意欲等の変化(家庭環境・意識的要因)

#### ・「学び i プレイス」(中高生勉強会)の実施・推進

##### 【実績概要】

- ・参加登録者数 221 人
- ・延参加者数 1,720 人

##### 【リスクに対する寄与状況】

- ・全ての中高生を利用対象とする学習支援(経済的要因)
- ・勉強場所がない生徒への場の提供(家庭環境的要因)
- ・支援者との関わりによる自己肯定感醸成(意識的要因)
- ・支援者をロールモデルとする進学意欲醸成等(その他)

【評価】「子どもの居場所づくり活動支援事業」では、事業初年度として上記活動を行った。今後は、居場所団体と居場所団体を支援する団体のマッチングや居場所の立ち上げ支援、支援者のスキルアップ講座等を行い、支援体制を充実させていく。

板橋区コミュニティ・スクール(iCS)では、導入に向けた検討や情報交換を行った。地域により浸透していないことが見受けられるため、周知方法を工夫し理解を求めていく。また、「学び i プレイス」(中高生勉強会)や「あいキッズ事業」は、子どもの居場所として機能している。「学び i プレイス」では、学習面での評価に加え、大学生等のボランティアとの関わりが持てたことが高く評価され、あいキッズ事業では、利用者アンケートから満足度約 9 割の高い評価を得ている。引き続き利用者ニーズを捉え、利活用が促進されるよう努めていく。

基本施策Ⅲの実施を通じ、地域社会全体で子育てを支えていく意識を醸成し、支援の充実を図っていく。

## 基本施策Ⅳ 支援につながるしくみづくり

### ○相談体制の連携・強化

#### ・スクールソーシャルワーカー(SSW)の配置

##### 【実績概要】

- ・派遣学校数 61 校(小:42 中:19)
- ・対象者数 253 人(小:136 中:117)

##### 【リスクに対する寄与状況】

- ・SSW の介入・適切な関係機関への繋ぎによる各リスク軽減

#### ・ひとり親家庭臨時相談窓口の設置

##### 【実績概要】

- ・実施日 平成 30 年 8 月 12 日
- ・来場者数 30 人

##### 【リスクに対する寄与状況】

- ・経済面のほか、就労・教育・住まい等の問題をワンストップで相談できることによる各リスク軽減

### ○虐待の防止

#### ・虐待防止支援訪問事業

##### 【実績概要】

- ・訪問件数 9,295 件

##### 【リスクに対する寄与状況】

- ・虐待の防止による心身成長・人格形成への寄与(健康・意識的要因)
- ・継続的相談・ケースマネジメントによる各リスク軽減

### ○情報提供の強化

#### ・ひとり親家庭サポートブックの配布

##### 【実績概要】

- ・児童育成手当受給者へ直接郵送 4,435 世帯

##### 【リスクに対する寄与状況】

- ・ひとり親家庭が日常生活の中で直面する課題(経済、子育て、教育、仕事等)に対する情報提供を通じた各リスクの軽減

【評価】「ひとり親家庭サポートブック」は、「板橋区ひとり親家庭等生活実態調査」(平成 29 年度)で、各支援制度の認知度が低かった結果を踏まえ、ターゲットに直接郵送することで制度の周知を図ったものである。「ひとり親家庭臨時相談窓口の設置」では、住宅相談を追加するなど、相談メニューの拡充を行った。また、虐待防止支援訪問事業では、増加傾向にある養育不安を抱える家庭に対し、関係機関と連携しながら対応している。今後も確実に支援につながるよう努めていく。

SSW は、支援内容・方法等の統一を図ることや、同行訪問により他課との情報共有に努めた。今後も、個に応じたきめ細かな支援が出来るよう、SSW のスキルアップやケース数に応じた適切な人員配置による内部体制の強化に取り組むとともに、関係機関との連携を強化し、支援体制の充実を図っていく。

基本施策Ⅳの実施を通じ、確実に支援に繋げていく仕組みづくりの一層の充実を図っていく。

### 3 成果指標

平成 30 年度末時点（一部実績は直近値）で、全 13 指標(1 指標はデータなし)のうち、「目標どおり進捗している（順調）」指標が 6、「ある程度のレベルで進捗している（維持）」指標が 3、「目標どおり進捗していない（停滞）」指標が 3 となっている。

今後は、リスクに対する各事業の寄与状況を踏まえつつ、指標の改善に取り組み、目指す姿(成果)を実現できるよう努めていく。

No.	指標名	目標	実績(H29)	実績(H30)
1	自分の子どもの現実的な進学段階が理想を下回る理由を問う質問に対し、「家庭に経済的な余裕がないから」と回答した保護者の割合	↘33.2%	28.6% (順調)	— (データなし)
2	「自分には、よいところがあると思いますか」との質問に対し、「当てはまる」又は「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童・生徒の割合	↗小 75.6% 中 71.0%	小 77.1% 中 74.3% (順調)	小 83.2% 中 83.0% (順調)
3	「小学校・中学校入学前に身につけたい生活習慣」チェックシートの実用率	↗47%	80.9% (順調)	68.9% (停滞)
4	区立小学校の定期歯科健診（小学 1 年生）で未処置のむし歯がある子どもの割合	↘16.37%	17.30% (維持)	16.52% (維持)
5	生活保護世帯に属する子どもの高等学校等中退率	↘2.1%	3.2% (維持)	3.7% (停滞)
6	いたばし若者サポートステーションの利用者数	↗延 2,243 人	延 2,353 人 (順調)	延 2,364 人 (順調)
7	ひとり親家庭自立支援給付金受講修了者の就労率	⇒100%	100% (順調)	100% (順調)
8	教育・保育施設、地域型保育事業における待機児数	↘376 人	185 人 (順調)	108 人 (順調)
9	あいキッズ利用者アンケート調査の満足度	↗86.4%	85.3% (維持)	89.2% (順調)
10	学習支援事業「まなぶーす」及び中高生勉強会事業「学び i プレイス」の定員数	↗200 人	200 人 (維持)	200 人 (維持)
11	スクールソーシャルワーカーの配置人数	↗6 人	5 人 (停滞)	6 人 (維持)
12	虐待通告受理後の対応における終結率	↗40.8%	56.3% (順調)	55.3% (順調)
13	区ホームページ「いたばし子育て情報サイト」へのアクセス数	↗100,292 件	91,345 件 (停滞)	82,064 件 (停滞)

※目標欄に記載の数値は、概ね子若計画策定時の直近値。実績欄(H30)に記載の数値は平成 30 年度末時点の実績だが、一部数値（待機児数・定員数等）は直近値となっている。

※「↗」は目標欄記載の数値の増加が、「⇒」は数値の維持が、「↘」は数値の減少が、それぞれ目標であることを示す。

※「実績(H30)」の標語(カッコ内)は、「目標」の値との比較を基本としつつ、「実績(H29)」の値との比較も加味して、総合的に評価している。